

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 山 陽 百 貨 店
 代 表 者 代表取締役社長 高野 勝
 (コード番号 8257)
 問合せ先責任者 取締役経営企画統括ゼネラルマネージャー 岩野 誠
 (TEL 079-223-1231)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 2 月期決算において特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせするとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 10 月 7 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

I. 特別損失の発生について

(1) 固定資産の譲渡に伴う特別損失

現在、遊休資産となっている賃貸用土地・建物の譲渡により、固定資産売却損として 52 百万円の特別損失が発生する見込みです。

なお、詳細につきましては、本日公表の「固定資産の譲渡に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) 退職給付制度の移行に伴う特別損失

当社は、平成 23 年 3 月 1 日付で一時金と適格退職年金からなる退職給付制度を一時金と確定拠出年金へと移行することにしました。

これに伴い、確定拠出年金への追加拠出金額と適格年金制度廃止による退職給付債務の減少額の差額 25 百万円が特別損失として発生する見込みです。

II. 業績予想の修正について

平成 23 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------|------|------|-------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 20,133 | 164 | 125 | 43 | 54 25 |
| 今回修正予想 (B) | 20,568 | 243 | 216 | 138 | 171 88 |
| 増減額 (B - A) | 435 | 79 | 91 | 94 | — |
| 増減率 (%) | 2.2 | 48.1 | 72.9 | 216.8 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 22 年 2 月期) | 20,781 | 219 | 175 | 136 | 169 39 |

平成 23 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|--------|------|------|-------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 20,084 | 173 | 118 | 38 | 47 29 |
| 今回修正予想（B） | 20,526 | 247 | 207 | 130 | 161 81 |
| 増減額（B－A） | 442 | 73 | 88 | 92 | — |
| 増減率（％） | 2.2 | 42.6 | 74.7 | 242.1 | — |
| （ご参考）前期実績 （平成 22 年 2 月期） | 20,731 | 224 | 163 | 125 | 156 59 |

修正の理由

景気の先行き不透明感から顧客の低価格・節約志向がさらに強まり、百貨店には厳しい環境が予想されたため、下半期の売上高は前年比 5.0%の減少と予想しておりましたが、減少が前年比 0.9%と小幅に止まり、売上高は前回予想と比べて 442 百万円増加の 20,526 百万円となる見込みです。

一方、経費面では、予想通りの削減が達成できる見込みとなり、売上高増加に伴う売上総利益の増加により営業利益は 73 百万円増加の 247 百万円、経常利益は 88 百万円増加の 207 百万円となる見込みです。

また、当期純利益は上記に記載しました特別損失が発生するものの、譲渡資産の減損損失の認容に伴い税金費用が減少することにより、92 百万円増加の 130 百万円となる見込みです。

連結業績につきましては、個別業績予想の修正および連結子会社の動向に基づき修正いたします。

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上